



## 小平のまちの移り変わり

### ＊ 小平のまちと玉川上水 ＊

今から400年ほど前、江戸幕府になって江戸（今の東京）の人口が増え、水が不足するようになりました。四代将軍家綱のときに玉川兄弟（庄右衛門・清右衛門）に上水路開設を命じ、玉川兄弟は多摩川からの取り入れ口を羽村に決め、大工事を完成させ、江戸に水をひきました。この玉川上水の恩恵は江戸で暮らす人たちばかりでなく、小平の開発にも大いに役立ちました。



新小川橋 平成19（2007）年6月撮影

### ＊ 新小川橋 ＊

西武国分寺線・鷹の台駅近く、玉川上水に架かる橋です。右写真の当時と比べて人通りが多く車の往来が頻繁になってきています。

しかし、ここを含め、玉川上水は東京都歴史環境保全地域として、東京都民、またわたしたち小平市民の憩いの場となっています。



昭和32（1957）年頃（飯山達雄氏寄贈）

### 皆さんの声をお聞かせください

小平市図書館協議会会長 落合 美代

図書館協議会について、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成17年7月 文部科学省告示）では、市町村立図書館運営に関して「図書館協議会を設置し、地域の状況を踏まえ、利用者の声を十分に反映した図書館の運営がなされるよう努める。図書館協議会の委員には、地域の実情に応じ、多様な人材の参画を得るよう努める。」とされています。

小平市では、最初の市立図書館（現 仲町図書館）が開設（昭和50年）されて以来、図書館協議会を設置し、図書館からの諮問に対する答申をはじめ、様々な提言を行ってきました。今年度は、公募委員5名を含めた13名の委員によって、中央図書館にて隔月（奇数月）開催されます。図書館が抱える問題を受け止め、市民の声が反映されるよう活発な意見交換をしたいと思っています。情報社会となった近年では、図書館のシステム化が進み、便利になってきた反面、心の通うサービスについて考えさせられています。便利さと心・・・この両者を大切にして、図書館が市民の皆さんにとってより素晴らしい場所となることを願っています。



## 分室紹介

～小平市立図書館には、中央館、地区館の他、公民館内に3つの分室があります～

### 分室を使うコツ

- ☆図書館が遠くても、分室で本を借りることや返却することができる！
- ☆読みたい本を、分室で予約・受け取ることができる！
- ☆図書館が休みの第3木曜日も、分室は利用できる！



#### <花小金井北分室>



昭和50年に開室。

花小金井図書館と大沼図書館の中間にあり、小説や児童書が中心に所蔵されています。

所蔵資料数：約6,300点

所在地：花小金井5-41-3

(花小金井北公民館2階)

電話：042-463-8377

昭和50年に開室し、平成8年に新装オープンしました。

読書スペースが多く設けられています。

所蔵資料数：約10,300点

所在地：小川町1-1012

(小川公民館1階)

電話：042-345-3877

#### <小川分室>



昭和53年に開室。

近くを玉川上水が流れています。

児童の利用が多く、また、文学全集などもそろえています。

所蔵資料数：約10,500点

所在地：上水南町1-27-1

(上水南公民館1階)

電話：042-325-4151

#### <上水南分室>



### ★★★ 利用時間 ★★★

開室時間：午後0時30分～午後4時30分

休室日：月・金曜日 祝・休日(日曜日の場合は開室) 12月28日～1月4日 特別整理期間

## 図書館の謎

### ミステリー3

天気が良いすぎると来館者が減り、天気が悪すぎても来館者が減るって本当？

**<一応、快晴よりは晴れのち曇りの日くらいのほうが貸出数は多いといえるが正直なところよくわからない。が、雨の日の利用は少ないというのは間違いない。>**

天気データを入れている2003年度から2005年度の3年間の調査による結果です。

天気と来館者の関係は比較的良好といわれています。いわく晴れた日曜日は外出が多くなるので来館者は少なくなる。晴れすぎていると暑いので、夏場は減る。また、雨になりそうな曇りの日は警戒して外出を控えるので来館者も少なくなるなど。

\*天気データは東京地方の気象です。

実際はどのようなのでしょうか？サンプル数の極めて少ない雪の日や台風の日を除いて検証してみました。

その結果一番貸出しが多かったのが、晴れのち曇りで、晴れと曇りの中間くらいの天気が暑すぎず寒すぎず外出しやすいということでしょうか。

その次が晴れ、曇りの日と続きます。

一番利用の少ないのが雨の日です。雨が降ると間違いなく来館者が減るといえます。やはり雨が降っていると出かけるのが億劫になるのは誰しも同じですね。雨のち晴れがその次に少ないのは、出鼻をくじかれ他の予定を入れるからでしょうか？

それはさておき、天気と来館者の関係はほぼいわれているとおりの結果となったようです。



## フクロウ博士の図書館活用百科

Q・・・最近、図書館で**インターネットの利用**ができると聞いたのですが？

A・・・平成19年4月7日より、中央図書館2階の参考室に**調査研究のための情報提供サービス**としてインターネット端末3台を設置しました。2台はインターネットの閲覧専用で、1台は商用データベース（新聞、判例、官報）と国・東京都・小平市等のホームページの閲覧端末です。こちらの端末では許諾を得た範囲内でプリントアウトができます。

利用できる方は利用カードをお持ちの方で、利用時間は1回30分（次に利用者の方がないときは30分延長可）で一日2回まで無料で利用できます。

\* 中央図書館参考室では、インターネット端末以外にも各種の辞・事典、新聞の縮刷版地図、白書、規格、小平市や多摩地区・東京都に関する資料、復刻本、全国の電話帳など、調べものに役立つ資料を多数取り揃えています。

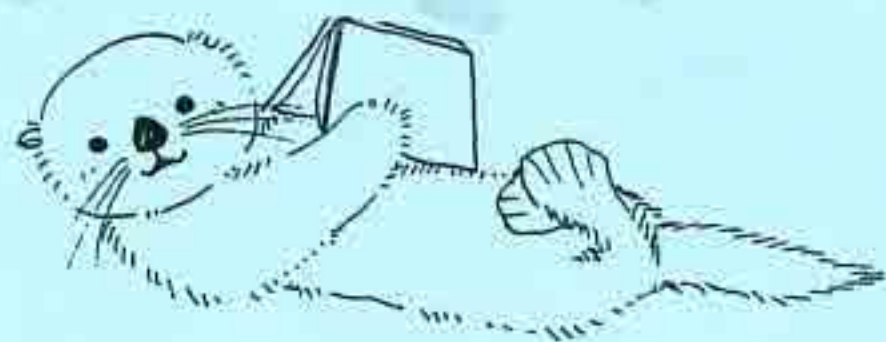
☆ 付録としてIT・パソコン等、情報化社会を考える関連図書資料リストがあります。

## 夏休みおすすめ本のご案内

図書館では毎年、夏休みの読書計画の参考に、市立小・中学校に通う児童・生徒のみなさんに「おすすめ本」のパンフレットを配布しています。これは昭和62年（1987年）から始まった児童サービス事業の一つです。

さて、リスト作りはどのように行われるのでしょうか…。まずは本選びから始まります。これが一番重要なことで、2月には準備に入ります。選ぶポイントは、①読み継がれてきた名作と今現在の秀作を織り交ぜて、バランスよく選ぶ、②読書に不慣れな子どもでも楽しく読める本、③夏休みの時期にあった本、④生き方、歴史、科学、芸術など幅広い分野から選択し、バラエティに富んでいること…等です。そして、選んだ本の紹介文を書き、4種類のパンフレット（小学校低・中・高学年、中学生向き）を作成していくという、時間と根気が必要な作業です。

今年は…  
冒険の本がいいかな？  
自由研究はどうしよう…



今年もまた、その季節がやってきました！  
おすすめ本は夏休み期間中、ブックトラックに別置されています。保護者の皆さまにもパンフレットをご覧ください、お子さんと一緒に童心にかえって、本の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 学校図書館の紹介 小平市立小平第一小学校

6月の学校図書館訪問の時に、図書主任の先生から次のことをお聞きしました。委員会は月1回、年11回の定例会。5・6年生の希望制による21名の組織。日常的には中休みの20分間（2・3時間目の間の休み時間）に本の貸出、返却、整理の活動を行っているとのこと。訪問時には委員会発表の相談とお薦め本のポスター作りに取り組んでいました。また、PTAサークルの方による読み聞かせの会が昨年度から全校児童を対象に月1回、中休みに計画・実施されています。6月の会では30人ほどの子どもたちが胸をわくわくさせながら図書室に集まってきました。8畳の畳の上に座った子どもたちはお母さんの読み聞かせに熱心に耳を傾けていました。これらの活動からも読書好きな子どもが多く育ってきています。

